

信濃民謡 お諏訪節

【踊りテキスト】

(諏訪よいてこ流し踊り用)

振付:花柳徳弥

一、
ハアー峰はナ(ハアドッコイ)
峰は白雪 諏訪湖はあかね
とけてみそめて
トコドッコイ ドッコイセ
エーとけてみそめて 出湯の町(ソレ)

※(アラ ヨイト ヨーイト ヨイト)
(トコドッコイ ドッコイセ)

※お囃 以下繰り返し

二、
ハアー月にナ
月にさそわれ 柳にやよばれ
来たよ 湯町の
トコドッコイ ドッコイセ
エー来たよ湯町の 盆踊り(ソレ)

※

三、
ハアー今宵ナ
今宵涙も 凍るよ湖畔
神も恋路を

トコドッコイ ドッコイセ
エー神も恋路を 御神渡(ソレ)

※

四、
ハアー花がナ
花が咲いたよ 高島城跡
様もほんのり

トコドッコイ ドッコイセ
エー様もほんのり 桜色(ソレ)

※

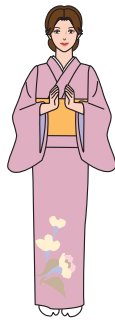
五、
ハアー泣いてナ
泣いて別れた 吹雪の諏訪よ
恋し湯の町
トコドッコイ ドッコイセ
エー恋し湯の町 雪の町(ソレ)

※

北原義張 作詞 / 中山晋平 作曲
小沢直与志 編曲

本テキストは、「諏訪よいてこ」用に当初の振付を若干修正しています。
当初の振付については、★印で掲載しています。

※尚、お諏訪節教本ビデオでは、花柳徳弥先生の振付を忠実に再現していますので、「諏訪よいてこ」の際はご注意ください。



●踊り出し
2呼間おいて踊り出す。
進行方向に向き、胸の前
でチョンチョンと四つ拍
手。

注)この振付をアレンジして
います。

★当初の振付では、12呼間お
いて踊り出す。



①右手たてかざし左手を
伸ばし上体を左後ろに向
けてひねる。同時に左足
は後ろで軽くスタンプ。
顔は後方を向く。(1・2)



②左手たてにかざし右手
を伸ばし上体を右後方に
向けてひねる。同時に右
足は後ろで軽くスタンプ。
顔は後方を向く。
(3・4) ※①の反対動作



③正面向き、両手を体前
で右左右と手先をかえ軽
くふりながら、右足から3
歩進んで左足でスタンプ。
(5・6・7・8)

注)この振付をアレンジし
ています。

★当初の振付では、右足から
右左右と3歩円心にはいる。



④両手を体前で右左右
と手先をかえ軽くふりな
がら、左足から3歩進ん
で右足でスタンプ。
(1・2・3・4)

注)この振付をアレンジし
ています。

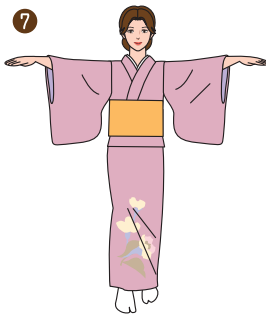
★当初の振付では、左足から
右左右ともとの位置にもどる。



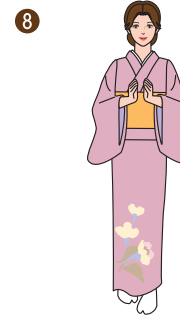
⑤右手あげて、右足の膝
をゆるめ、左足は右足後
ろで軽くスタンプ。右手
のひらかえし顔は右向き
となる。(5・6)



⑥右手を右側に流しなが
ら、左足をふみ出し、左手
あげて、左足の膝をゆる
め、右足は左足後ろで軽
くスタンプ。左手のひらか
えし顔は左向きとなる。
(7・8) ※⑤の反対動作



⑦正面向き、右足をふみ
出して、両手胸の前から
左右に開く。(1・2)



⑧右足を大きくひきもど
して胸の前でチョンチョン
拍手。(3・4)以上の動作
を繰り返して踊る。

①に戻る。

★=輪踊り:
輪になって踊る場合
(盆踊り・当初の振付)